

新霊・先祖供養比叡山団参ご案内

～伊勢志摩・賢島への旅～

今年も下記により先祖供養団参を行います。この機会に日本仏教の母山と言われている比叡山延暦寺にお参りしましょう。

今年の先祖供養団参2日目は、2016年G7伊勢志摩サミットが行われ、安倍首相が宿泊された賢島宝生苑に宿泊いたします。宝生苑の展望大浴場と庭園露天風呂は、英虞湾の絶景を存分に楽しんでいただけたと思います。ご親戚、ご友人をお誘いいただきまして、年に一度の特別な時間をお過ごしいただきたいと思います。

1. 月 日 平成30年6月17日(日)～19日(火)
2. 旅 費 64,000円
3. 旅 程 ※詳細についてはお問合せ下さい。

6/17 東円寺(出発6時)＝御殿場IC＝新東名＝伊勢湾岸道＝
＝名神高速＝彦根(昼食)＝延暦寺団体参拝＝延暦寺会館(泊)

6/18 延暦寺会館(8時半出発)＝三千院(参拝9時30分～10時50分)
＝志ば漬専門店(ヨック・ウケ)＝京都市内(昼食)＝
＝伊勢自動車道＝伊ハニカルズ＝賢島宝生苑(泊)

6/19 賢島宝生苑(8時30分出発)＝鳥羽(海産物ヨック・ウケ)＝
＝名古屋(昼食)＝名古屋城(見学)＝新東名＝
＝駿河湾沼津SA(夕食・自由食)＝東円寺(着19時30分予定)

※旅程は多少変更する場合がありますのでご了承ください。

◎お申込み受付は4月30日までです。

参加希望の方は予納金1万円を添え、お早目にお寺まで
お申し込みください。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

彼岸を迎え、ようやく春めいてきました。檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様の菩提寺である東円寺に対してのご助力に衷心より感謝申し上げます。富士山が世界文化遺産になり五年になりました。先日の新聞報道によると、富士五湖地方を訪れる外国人観光客の数が減少し、地方の観光地に分散してきているようです。忍野八海も心なしか観光客が減っているようです。増え続ける外国人観光客を獲得しようと、各地方の観光地がそれぞれの魅力を発信し続けてきた努力の成果だそうです。

宗祖伝教大師の御遺戒の中に「共生」と言う御教えがあります。「人間(自分)だけでは生きられない、周りの豊かな自然の中に人は生かされている」と言うお言葉です。忍野八海は忍草の人々に豊かな恩恵をもたらしてくれています。忍野八海は忍草の宝として世界の宝にふさわしくなるよう、東円寺でも八海清掃を通じて、これからも環境整備活動を続けて参ります。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。今後も、寺の更なる発展を来だし、微力ながらも尽力いたしますので、温かなご支援をお願い申し上げます。

合掌

仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店

口座

普通

121086

東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので必ず戸主がわかるようにして下さい。



10年前と比べてかなり交通事情が変化した忍野村ですが、村内交通死亡事故ゼロが7千日を突破しており、山梨県知事より表彰されています。現在もその記録は更新中です。

1月28日に東円寺初不動大祭・交通安全・厄除け祈願祭が行われました。今年もその記録が更新され、良き年となるようお願い、心を込めてご祈禱させていただきました。交通安全協会、富士吉田警察署の方々をはじめ、忍野村長さんや忍草区の代表の方々など多くの方々が参拝してくださいました。

～12月31日 大晦日・除夜の鐘～

平成29年を送り平成30年を迎える除夜の鐘ですが、今年は昨年と違った音が響きました。鐘楼門の耐震修復を終え、初めての除夜の鐘でした。冷え込みが厳しいという気象予報により、例年よりもご参列くださった方が少ないように感じました。鐘楼を撞く人々は、耐震工事で壁ができましたので、体感温度が例年とは違い温かく感じたようですが、寒いということは変わりません。

現代は、便利な世の中になりましたが、だからこそ時間に追われる日々を過ごしているように感じます。大掃除を終えて安堵され、テレビをつけながら晩酌が始まってしまうと、寒い中除夜の鐘を撞きにくる気力は失われてしまうことも想像できます。共感してしまいますと、除夜の鐘を撞きに來てくださる方が減少する傾向を食い止めることはできません。仏様や神様は、苦勞して運んでくださった思いを何倍にも受け止めてくださると聞きます。俗な例えかもしれませんが、夜勤などの人が嫌だと思ふ仕事をすると賃金は高くなるという理屈と同じではないでしょうか。自分の都合の良い時間、都合の良い気候で出かけて祈るよりも、年末の疲れた体に鞭を打って、今年一年のお礼を申し上げ、新しく迎える年が良き年となるよう祈る心が尊いのだと思うのです。その尊い心が、仏様や神様からご利益をいただけるのです。今年の除夜の鐘には、多くの方にお参りいただきたいと思っております。

～12月29日お餅つき～

古来、日本人にとってお米は神聖な食べ物とされてきました。そのお米から作られるお餅やお酒はとりわけ靈力が高いといわれているそうです。お正月の間、鏡餅に神様の魂が宿るとされていることから、新年の神様である歳神様をお迎えして「今年一年が幸せでありますように」とお祈りしながら、家族総出で鏡餅を準備していました。今ではお餅も機械でついたり、お店で購入したりして、大勢でお餅つきを行うことも少なくなっているようです。

東円寺では毎年12月29日にお餅つきを行っています。様々な仏様が祀られておりますので、鏡餅だけではなく、大・小たくさんの御供え餅を作ります。お餅は、杵と臼でつきますので、人手もなかなか必要です。今年も小さな子供から大人まで賑やかなお餅つきになりました。



ライトアップされた鐘楼門



お餅つきの様子

～関東檀林寺院を訪ねて～

私が所属しております「神奈川仏教青年会」の今期研修の一環としての関東檀林寺院への参拝が2月14日に行われました。

檀林寺院とは談義所といい、かつて鎌倉時代から室町時代にかけて、比叡山を中心に全国へ伝播していった学問を中心とする寺院のことをさします。今日の仏教、いわゆる「平安仏教の母山」伝教大師の教えを地方へ広めんとする重要な寺院であり、当時は大規模寺院として栄えていました。特に関東地方に多く分布し、有名所ですと川越の「喜多院」は皆様もご存じかと思います。今回は千葉、茨城の6つの寺院を回りましたが、各寺院さまざまな伝説や歴史があり、さすが大規模な寺院といった印象でした。なかでも千葉県にある「行元寺（ぎょうがんじ）」という寺院にある、彫刻師「伊八」が彫った波の彫刻がとて印象的でした。かの有名な葛飾北斎に閃きを与え、代表作である「神奈川沖浪裏」の基となりました。その後、「波の伊八」が西洋に伝わり、ゴッホやピカソにも大きな影響を与えました。

そのそれぞれの歴史はとて興味深いもので、今回もとて有意義な研修になりました。皆様も、旅行に行かれた際には、その土地の歴史が残る寺院や神社を参拝して歴史探訪をしてみるのもいかがでしょうか。

慈法 記

◇東円寺子育地蔵尊祭 ◇

東円寺に祀られております地蔵尊は、正徳元年（1711）忍草の善男善女により奉納された石造です。300年以上前から東円寺と忍草、忍野村をお守りくださっている仏様です。300年以上前の日本また忍野村を想像しますと、現在のように十分な食べ物はなかったでしょう。栄養不良の人も多かったと思います。そのような厳しい生活環境の中で、多くの幼い子供の命が消えていきました。



お地蔵様は、日本人にとってより身近な仏様でした。現在でも、街角には地蔵堂や仏様を見かけます。けれども、そこに立ちどまって手を合わせている人は希少です。平和な世界は当たり前ではなく、悲しく辛い思いをした人々の苦難から生まれたものであることを感謝する日も必要だと感じます。平成の時代は、災害の時代だったという報道を見ました。確かに、災害は突然起こり、尊い命を奪い、生活基盤は失われます。子供や家族が、病気も怪我もなく健やかに生きていることは、当たり前ではなく奇跡だと感じることもあります。

今年の地蔵尊祭は参列くださる皆様と、地蔵和讃というお経を一緒にお唱えさせていただきます。お地蔵様の慈悲深いお心を感じる時間になると思います。ご案内のチラシと祈祷申込書を別紙にて同封させていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

☆インド子供基金より☆

インド子供基金では、使用済み切手（記念・普通）とプリペイドカードを集めています。また、未使用のタオルなどがありましたらご協力ください。

※切手のふちは台紙のついたまま周囲1cmぐらい残して切ってください。

※子育地蔵尊祭当日にお持ちいただいても結構です。



～寺庭のつづやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。戦後 70 年以上が経ち、また、平成という時代も今年 1 年と数カ月あまり、若いと言われていた私たちも気付けば白髪が目立つ年になって参りました。様々な人と出会い、別れを繰り返すのが人生のようです。目まぐるしく変化する時代だからこそ、人として忘れてはならないことがあるように感じます。現在の私たちが存在するのは、先人（ご先祖様）達の苦勞のお蔭です。忍野村は、春彼岸に戦没者の慰霊祭を執り行います。戦没者慰霊行事を行う市町村が減少傾向にあるという情報を耳にしますと、戦争で犠牲になられた親族の慰霊祭を継続している意味深さを感じます。私たちは、犠牲となられた方々のお蔭で、現在のように平和な社会に生きることができています。また、戦後経済を立て直された多くの先人達の努力によって、経済大国となりましたが、戦時下、戦後、大黒柱を失われた家族の暮らし向きは、想像以上だったと思います。平和になったことで、その時代の悲惨な状況を忘れ、国からの補償金に対して意識のずれを感じる発言を耳にすることがあります。戦争孤児、また、戦争未亡人の言うに言われぬ辛い日々は金銭でどうにかなるものではないと思います。平和だからこそ見えなくなっている人の心の痛みを、戦没者慰霊祭を通じて思いをはせたいと感じます。

今年も 6 月に先祖供養団参を計画しております。今年は、一昨年 G7 伊勢志摩サミットが行われた賢島へ行く予定です。宿泊ホテルは客室、また大浴場から、英虞湾の絶景をお楽しみいただけます。東円寺としては、先祖供養団参にける思いは篤く、ご先祖様とご一緒に旅をしていただくつもりで旅行計画を立てております。多くの檀信徒様にご参加いただきたいと思っております。これからも東円寺の更なる発展に精進して参りますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

八海・新名庄川清掃活動参加者募集

東円寺では、一隅を照らす運動の一環として、毎月 8 日に忍野八海・新名庄川の清掃活動をしています。清掃活動を続けて、12 年目に入りました。今年も毎月 8 日に清掃・除草活動を行います。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご参加・ご協力をお願いします。

天台青少年の集い参加者募集

「天台青少年の集い」とは、天台宗の総本山である比叡山延暦寺にて、「一隅を照らす」精神を持った青少年の育成を目的とした夏休み中に行われる 2 泊 3 日の合宿です。日常生活とは違う空気の中で過ごす貴重な体験ができます。是非ご参加下さい。

※中学生・小学 6 年生であればどなたでも参加可能です。お申し込み・お問い合わせは東円寺まで

一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを實踐する一つの組織として、天台宗一隅会（一隅を照らす運動）があります。賛同してくださる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

☆ご詠歌に 参加しませんか☆

3 月～12 月
第 2・第 4 月曜日
午後 2 時～3 時
※行事によって変更有り



～しょうぐうさん
からのお願い～
ゴミはゴミ捨て場以外へ
捨てないでください